



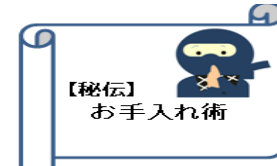
教えて！フラ子さん



【秘伝】お手入れ術




×



=




コート・ ジャケット類

 購入する時に、自分のサイズに合っているか、きちんと確認するのがポイント。できるだけ縫製や生地がしっかりしているものを選ぶようにします。流行に左右されない、シンプルなデザインの服は、長く着ることができますよ。



- ・着用後は、毎回、ブラシなどで表面についたホコリを落とします。
- ・サイズのあった(肩の位置があっているもの)ハンガーにかけます。
- ・着用後は、すぐにクローゼットにしまわず、空気を通します。
- ・1日着用したら、次の日はお休みさせます。
- ・雨や雪で濡れてしまった場合は、乾いた布でふきとり、陰干しします。
- ・汗や皮脂のつきやすい襟や袖口は、固くしぼった濡れタオルで拭きます。
- ・シミをつけてしまったら、早めにクリーニング店に持っていきます。
- ・シーズン後、なるべく早めに信頼しているクリーニング店に持っていきます。


くつ

 靴は、素材にあったお手入れが大事。購入時にお店の方に聞いたり、表示を読んで、きちんと確認しましょう。新品の時に、あらかじめ靴底部分を補強しておくとも長持ちしますよ。また、時々、中敷を替えると、見た目もはぎ心地もリフレッシュできます。



- ・帰宅後、すぐにやわらかい布で汚れやホコリを落とし、風通しのよい場所に置きます。
- ・雨や泥がついてしまった場合は、水分を拭きとり、陰干しします。泥は、完全に乾いてからブラシがけをするときれいに落ちます。
- ・シューキーパー(なければ新聞紙など)で形を整えます。
- ・1日履いたら、次の日はお休みさせます。2~3日間隔をあけて履くのが理想です。
- ・晴れた日に防水スプレー(汚れ防止にも)をかけ、陰干し・から拭きをします。
- ・皮靴は、週1回、靴クリームやオイルを塗布して、栄養分を補給し、つやを出します。
- ・かかとの底部(プラスチックやゴムの部分)は、削れてしまう前に、交換します。


セーター類

 セーター類は、家で手洗いでできるものも多いですね。家で洗う場合は、必ず品質表示を確認してから。繊細な素材やシミがついてしまったものは、クリーニング店のプロにおまかせしたほうが安心です。



- ・着用後は、すぐにしまわずに、ブラシをかけて(毛玉防止)、空気を通します。できてしまった毛玉は、ハサミでカットしますが、生地を傷めるので最小限に。
- ・くたびれてきたら、スチームアイロンをかけて生地をふんわりさせます。
- ・袖口や首まわりがのびてしまった時は、スチームアイロンをかけ、冷やします。先にしつけ糸で縫っておくと、きれいにしあがります。
- ・ほつれてしまったら、ストッキングの糸(糸目に沿ってほぐし取る)で修復します。
- ・型崩れを防ぐため、ハンガーではなく、引き出しに寝かせるようにして保管します。
- ・シーズン後は、防虫のため、あまり着ていなくてもクリーニングしてしまいます。


アクセサリ

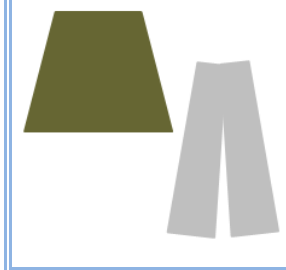
 アクセサリーは、壊れてしまっても、修理できる場合が多いので、すぐに捨てないで。切れてしまったネックレスのチェーンは、数千円で直すことができます。片方なくしてしまったイヤリングをネックレスや指輪にリフォームしても素敵ですね。



- ・メイクやヘアスプレー、香水を先にすませてから、装着します。
- ・着用後は、柔らかい布で汗や汚れを拭きます。こまめに拭くことで、変色や光沢のにごりをふせぐことができます。
- ・シルバーなどは、研磨剤の含まれてある専用布で拭き、黒ずみを落とします。
- ・しまうときは、傷を防ぐため、他のアクセサリとは別にします。箱を小さく区切って、コットンやスポンジを敷いた宝石箱をつくと重宝します。
- ・切れてしまったチェーンや外れてしまった石は、修理して使います。


スカートズボン

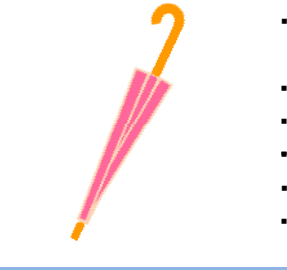
 食べこぼしでの汚れを防ぐため、食事中はハンカチをひざの上に乗せています(お店のナプキンがある場合は、自分のハンカチを使用すると失礼になるので、ご注意を)。食べこぼしが原因で、気付かないうちにカビが生えてしまうことって多いんですよ。



- ・着用後は、毎回、ブラシなどで表面についたホコリを落とします。
- ・ちょっとしたシワは、入浴後の浴室の蒸気を利用して回復させます。
- ・食べこぼしてしまったら、濡らしたハンカチやタオルで、たたくように拭いて応急処置します。この時、まわりに広がらないように注意します。
- ・サイズが合わなくなったら、リフォーム店に相談します。調整できる範囲と料金を確認してから、お直しかどうか決めます。
- ・すそのほつれなどは、接着布テープを使用して、補修します。


かさ

 きちんとお手入れしていれば、かさは長持ちします。お手入れしていると、愛着が出て、置き忘れてなくすということも減りますよ。ビニール傘をやめて、お気に入りの1本を大切に使用してみませんか？



- ・使用後の水切りは、やさしく上下にふります。くるくるまわすと遠心力で負担がかかってしまうので、NGです。
- ・使用後は、広げた状態で陰干しします。
- ・汚れがついた場合は、水洗いし、陰干しします。
- ・たたむ時は、傘布のシワを伸ばしながら、折り目に沿って丁寧に。
- ・直射日光のあたらない場所に保管します。
- ・壊れたら修理します。


くつした

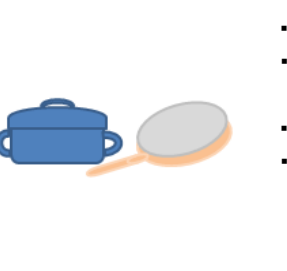
 しっかりした品質のものを選ぶと長持ちするんですよ。お気に入りのメーカーの同じ色のものをリピート買いすれば、片方のくつしたが使えなくなったり、なくなってしまった場合に、別のペアのものを代用できるので便利です。(干す時も楽ですよ)。



- ・履いたら早めに洗濯します。洗濯時に裏返すと表地を傷めません。
- ・汚れがひどい場合は、洗濯機に入れる前にもみ洗いをします。
- ・干す時は、ゴム部分を上にします。(ゴムは水分を含んだ状態が長いと劣化するので、早く乾く上側に。)
- ・穴があいたらつくろいますが、穴が空かないようにふだんから爪は短くします。
- ・室内でもフローリングの場所では、スリッパをはきます。
- ・生地が薄くなったり、古びてきたらぼろ布としてぞうきんがわりに使用します。

なべフライパン

 使い終わったら、すぐに洗って、水分をとることが長持ちのポイント。材質によって、取扱方法が違うので、購入時に添付されている説明書を必ず読んで。油汚れは、野菜の皮や出がらしのお茶パックで、あらかじめ汚れを落としてから洗うと、きれいになりますよ。



- ・料理はなるべく早く器に移します。
- ・フライパンは、洗った後、ふきんで拭きます(フッ素加工のものは、自然乾燥にすると水道水のミネラル分がフライパンに残り、食材がこびりつく原因になります)。
- ・材質にあったお手入れをします。
- ・焦げで、使えない状態になってしまったら、天日干し(ベランダなど日当たりのいい戸外に、焦げた部分に日光があたりやすいように鍋を置き、1週間程度放置)します。その後、割りばしやスポンジでこすると、きれいに焦げを落とすことができます。